



古典で読む20世紀 第Ⅲ期

戦後を問う動きが激しくなっています。「古典で読む20世紀」はこれまで欧米の思想家中心でしたが、今年度は日本の戦後に焦点をあて、丸山真男をじっくり取り上げたいと思います。「6・15の現実より8・15の虚妄にかける」という言葉は、もはや過去のものでしかないのでしょうか。いまさら丸山なんてという声と、一方では丸山の未発表の文章が読まれ、「丸山真男論」が、つぎからつぎへと途絶えないのは、丸山真男の提起した諸問題が、いま、新たなリアリティをもって甦ってきているからだともいえるでしょう。戦争直後の時点で、丸山が何を問おうとしたのか、その後の思考過程の中で、なぜ「日本人の歴史意識」を問題としたのかを問いながら、現在の日本を考えていきたいと思います。

第一回 5月13日(金) 「超国家主義の論理と心理」

テキスト『丸山真男セレクション』平凡社ライブラリー

第二回 7月 8日(金) 「日本の思想」

テキスト『丸山真男セレクション』または岩波新書

第三回 9月 9日(金) 「福沢諭吉の哲学」

テキスト『丸山真男セレクション』

第四回 11月11日(金) 「歴史意識の〈古層〉」

テキスト『忠誠と反逆』ちくま学芸文庫

時 間 18:30～20:30

会 場 日本キリスト教会館6階フォークトルーム (時間と場所が昨年度と変わりますのでご注意ください。)

参加費 1回500円、4回連続の場合は1,500円

ファシリテーター：武田 利邦

日本クリスチャン・アカデミー関東運営委員、農村伝送神学校ほか講師。
長年高校生にマルクスやキルケゴールをわかりやすく教えてきました。

申込先 日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター

新宿区西早稲田2-3-18

電話 03-3207-6198

Email: info@academy-tokyo.com

準備の都合上、予めお申し込みください。